

北海道アグリ・フードフォーラム2021

新型コロナウイルス感染症対策について

2021年1月7日現在

新型コロナウイルス感染予防を目的とした 本催し物開催ガイドラインについて

～はじめに～

事務局では、本催しに関係される皆様の安全を確保するため、新型コロナウイルス感染予防を目的としたガイドラインに基づいて開催いたします。

本ガイドラインは、日本展示会協会「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」、および国際見本市連盟（UFI：The Global Association of the Exhibition industry）「国際見本市連盟の指針」を加味した内容となっており、本催しの開催までに随時、更新してまいります。

事務局では、開催・運営にあたり、各ガイドラインの最新情報を採用することにより、本展を安全・安心な環境下にて開催することに努めます。

出展される皆様におかれましても、安全・安心な運営にご協力くださいますようお願いいたします。

2021年1月7日
北海道アグリ・フードフォーラム事務局

主催者・出展者・来場者の安全確保に向けての取り組み

Point 01

ソーシャルディスタンスを確保

- ◆ 待機列等に床に印を付け、空間規制をして人の密集を防止
- ◆ 感染予防を意識した会場構成

Point 02

健康・安全手段の強化

- ◆ 入出管理と検温を実施
- ◆ 共有エリアは、消毒スペースを設け、清拭・消毒を徹底する
- ◆ 換気の行き届いた空間を整える
- ◆ 感染防止資材を活用(シールド・マスク・消毒液・フェイスガード・ゴム手袋等)

Point 03

混雑コントロールの実践

- ◆ 完全事前登録制と来場時間予約制を導入
- ◆ 入場コントロールの実施

Point
01

ソーシャルディスタンスを確保

- ◆ 待機列等に床に印を付け、空間規制をして人の密集を防止
- ◆ 感染予防を意識した会場構成

Point
01

◆ 待機列等に床に印を付け、空間規制をして人の密集を防止

会場誘導には、常にソーシャルディスタンスを基本としたサインを掲出し注意喚起を促します。



▲床イメージ

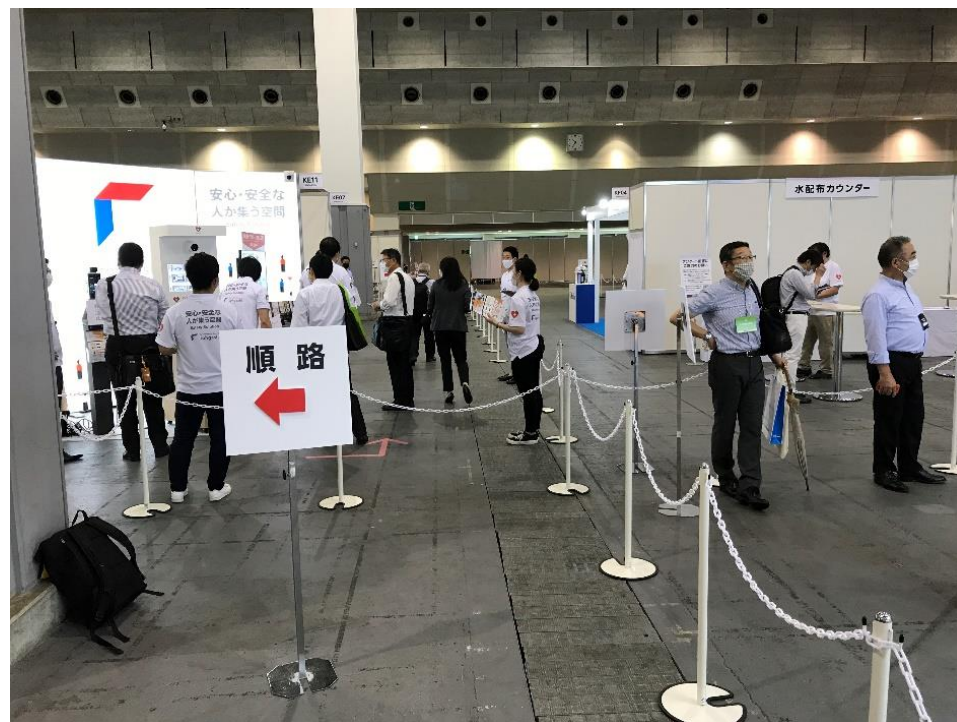


▲案内看板イメージ

Point
01

◆ 感染予防を意識した会場構成

人の流れを工夫し、ソーシャルディスタンスの確保・安全な環境を作ります。



▲人の流れを工夫し混雑緩和



▲密を避け、余裕をもった座席配置

Point
02

健康・安全手段の強化

- ◆ 入出管理と検温を実施
- ◆ 共有エリアは、消毒スペースを設け、清拭・消毒を徹底する
- ◆ 換気の行き届いた空間を整える
- ◆ 感染防止資材を活用(マスク・消毒液・フェイスガード、ゴム手袋等)

Point
02

◆ 入出管理と検温を実施

入場から検温の流れ

① 来場規制

発熱、咳・咽頭痛・息苦しさ、保健所健康監察下、2週間以内に海外渡航歴がある、他体調不良の方の来場は控えて頂く。



② 体温検査

会場入り口にて非接触型体温計で体温検査を行うて頂く。



③ 入場を控えて頂く

37.5℃以上の場合は入場控えて頂く旨を、お伝えする。



Point
02

◆ 共有エリアは、消毒スペースを設け、清拭・消毒を徹底する

誰もが安心できる環境を整える。

◇ 消毒スペース

多くの人が入り出りする場所、入口には、必ず消毒スペースを設け除菌する

- ・ 会場出入口
- ・ 商談コーナー等



◇ 清拭・消毒を徹底

多くの方が共有するスペース内では、除菌清掃を徹底し清潔を保つ

- ・ 商談コーナー
- ・ フォーラム会場等

テーブル、椅子、カタログ棚等



Point
02

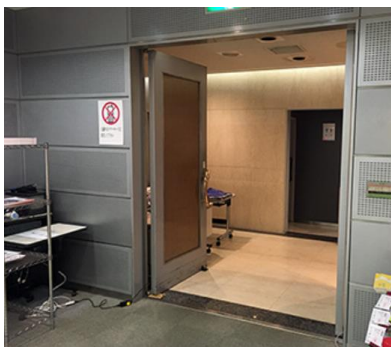
◆ 換気の行き届いた空間を整える

誰もが安心できる環境を整える。

◇ 定期的な換気の実施

会場内のほか、密になりがちな諸室、フォーラム会場、会議室等・室内扉の両方向解放により、空気環境を維持、または改善するために外気を取り入れて内部の空気を排出する

- ・ 併設展示会場
- ・ 会議室等



・ フォーラム会場

外気導入型のセントラル空調を常時稼働。会場内個別機による内気循環も併用。出入口ドアは常時開放し、休憩時間の窓開放による空気の入れ替えを実施。



Point
02

◆ 感染防止資材を活用

主催者の安全対策として登録所・受付等
出展者に向けた安全対策として、商談コーナー等

◇ 卓上アクリル飛散カバー

販売品



・商談席等イメージ



◇ アクリルパテーション

組み立て式のフレームにアクリルを組み合わせる
ことで様々な場所、什器に設置が可能です。

・受付カウンターイメージ



Point
02

◆ 感染防止資材を活用

◇ マスク・フェイスシールド

- ・説明員として参加するスタッフには、フェイスシールドを義務付ける



ご注文単位 10個セット 100個セット

サイズ約320mm×220mm 素材:PET・PP・PU・ウレタンゴム・樹脂

ご注文単位 100個セット

サイズ約320mm×220mm 素材:PET・PP・PU

※2タイプ御座いますので詳細はお問い合わせ下さい。

【商品特徴】

- 顔部に接触する部分はスポンジのため、やわらかく、軽重でかつ厚みもあるのでメガネをかけても気になりません。
- 長時間の作業でも体に負担がからないよう軽量素材を使用しており、平ゴムバンドタイプなので簡単に装着することができます。

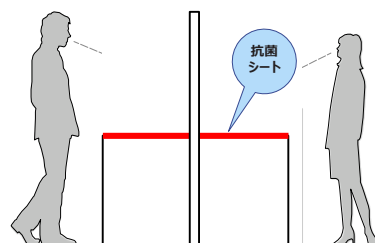
※数に限りがございますのでお早めにお問い合わせ下さい。



・受付スタッフも装着。

◇ 抗菌シール

- ・展示台、人の手が触れるドアノブには、抗菌シートを貼り菌の増殖を抑制



◇ 消毒ジェル

- ・消毒液は、共有エリア内に適宜設置



- 消毒用サニタイザー
マスク同様、ブース出入口には消毒が習慣化。



Point
03

混雑コントロールの実践

- ◆ 完全事前登録制と来場時間予約制を導入
- ◆ 入場コントロールの実施

Point
03

◆ 完全事前登録制と来場時間予約制を導入

来場事前登録を必須とすることで、来場者情報を取得、管理します。

あわせて来場事前登録時の来場時間申請により、予め混雑を緩和できるスタッフ配置を行います。

事前登録

完全来場事前登録制を導入。
(案内状の持参だけでは入場できません)
予め個人情報を収集しておくことで、緊急時の
連絡が取れる状態にします。



登録所

申請した来場時間になったら登録所へ。



入場時

自治体が独自に展開している「コロナ追跡システム」も案内することで、予め打てる対策を万全にしておきます。

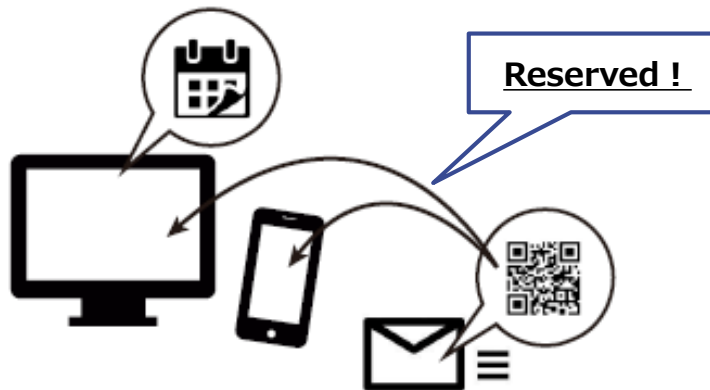


Point
03

◆ 入退場コントロールの実施

会期中に想定される来場者数を事前に把握し、1日に入場できる人数制限を設ける。

- webで事前入場登録（来場時間予約制）



- 会場出入口での入場者数カウント



- 事前に来場日時を指定して予約（1日を7つのブロックに区切る）会場内の混雑緩和を図ります。

例）1日約1,000人が訪れる展示会を想定

時間帯毎の入場者数

A)	10:00～11:30	150人
B)	11:30～13:00	150人
C)	13:00～14:30	150人
D)	14:30～16:00	150人
E)	16:00～17:00	150人

■ 入場者数

■ 滞在者数を把握することも可能